

## 第12回全日本マスターズ配艇について

### ■配艇受付（1X・2X用、フォア・エイト・KF用 の2か所）

- ・ シェル艇の配艇受付はレース1時間前・艇の使用は50分前からです。
- ・ ナックルフォア（KF）の配艇受付はレース40分前・艇の使用は30分前からです。
- ・ 使用する艇がレース中の場合は、船台でレーンごとに決まった位置（航行図【2】参照）でお待ちいただき、前のクルーがレース後に船台に戻った時点で艇を引き継ぎます。
- ・ 配艇のバウナンバーは艇と一緒に貸与します。レース管理の為に自艇参加の方にもバウナンバーを貸与します。配艇受付に取りに来てください。

### ■貸与艇・オール

- ・ 8+、4+及びスカル種目のオールはチョッパー型（ビッグブレード）、ナックルフォアはチョッパー型またはマコン型でレース毎に統一です。
- ・ エイト、ナックルはオール交換を認めていません。その他の種目はマイオールの利用が可能です。オールの送り先は下記を参照ください。
- ・ 配艇のオールは、艇のラックに保管されているオールを使用してください。
- ・ エイトのクックスボックスは用意されていません。ご持参願います。（配線は用意しております。）

### ■リギング

- ・ エイト、KFについては全てオール付きでリギングしてあります。マイオール利用不可、ストレッチャー前後のみ調整可です。エイトはC型ワッシャーによるハイトのみ調整可です。
- ・ その他借艇では、リギングは個人の責任において（発艇時刻に間に合うように）行ってください。
- ・ 船台で艇を引き継ぐ際、リギングをしたい場合は、次の使用クルーが陸に上げて、A艇庫前スペースで実施してください。また標準リギング値と異なる設定をした場合は、もとの状態に戻してください。
- ・ 工具類は用意されていません。持参願います。

### <配艇使用の流れ>

① 配艇受付にて種目ごとに受付

② 「配艇カード」及びバウナンバーをお渡しします。

配艇カードには、クルー名/種目/レースNo./レーンNo. /発艇時刻/艇番号等を記載しています。

使用艇がレース中の場合は、「配艇カード」のみをお渡しします。

③ 配艇場で「配艇カード」の艇番号に該当する艇について準備し、出艇します。

使用艇がレース中の場合は、航行図【2】のレーン別の着岸位置で待ち、艇を引継いでください。

船台で艇を引き継いだ場合は、すぐに蹴り出すか、又は出艇前リギングを行う

場合はすぐ陸に上げて、本部付近の出艇前リギングエリアで作業ください。

舵手付き艇の場合は、ストレッチャー位置調整は自由水域で行なってください。

④ レース終了後、航行図【2】のとおり、速やかに船台に付けてください。

次の使用クルーが船台で待っている場合は、艇を船台で引き渡します。

陸に上げる場合は速やかに運び出し、船台の混雑緩和にご協力願います。

- ⑤艇を陸に上げたら、速やかに元の位置に戻し、配艇のオールも元の場所に戻してください。  
 艇を収納後、バウナンバーと配艇カードを配艇受付に返却ください。  
 （艇を船台で引き渡した場合は、配艇カードのみ配艇受付に返却）  
 破損、故障等あった場合は配艇受付へご連絡ください。  
 その日の最終の使用クルーとなる場合は、艇とオールを水洗いしますのでご協力ください。

■マイオールの発送方法

送付先：〒592-0001 大阪府 高石市 高砂1丁目 大阪府立漕艇センター  
 漕艇センター事務所電話 (072)268-3100

配送日時は5月30日9時~17時、5月31日9時~12時のいずれかをお願いします。

会場からの発送は、佐川急便の着払伝票を本部で配布します。

発送荷物は漕艇センターA艇庫内に集積し、6月4日(火)の集荷発送となります。

■標準リギング値

概ねこの値の前後で設定されています。

これと異なるリギング設定に変えた場合、元の状態に戻してからお返してください。

		8+	4+	4X±	2X&1X
リガースプレッド	cm	85 (調整不可)	85		
	cm			160	160
ワークハイト	男子 cm	15.5	15.5		
	女子 cm	14.5	—		
	男子左手 cm			16.0	15.5
	〃 右手 cm			14.0	14.0
	女子左手 cm			15.0	14.5
	〃 右手 cm			13.0	13.0
ストレッチャー		ボード角 42-45°、かかと深さ 13-16cm			

<オールの運び方、置き方について>

カーボンシャフトは小さな傷に非常に弱く、繊細な扱いを必要とします。  
 シャフトを堅いコンクリートや石に接触させないようにしましょう。  
 擦ったりぶついたりするのは厳禁です。  
 まとめてガチャガチャ音をさせて運ぶようなことはやめましょう。



配艇のボート、オールは大切に扱ってください。

船台やアームにぶついたりして傷つけないように注意してください。  
 扱い方が不適切なクルーには大会役員より声をかけさせていただきます。  
 破損した場合は原因者の責任において補修対応いただきます。

